



# 新緑

しんりょく



【発行】社会福祉法人 新緑福祉会 / 神戸市西区玉津町水谷字セリ合400-7 TEL.078-913-1277 FAX.078-913-1137 <https://www.shinryoku.or.jp/>

## えみのき(咲の樹)が完成しました

新緑福祉会 事務局長 正 心 徹



多くのご支援を得て、平成29年9月の着工から7ヶ月。計画名「第2とこはの家」は、「えみのき(咲の樹)」と命名され、平成30年5月1日付認可でスタートしました。

改めて、事業概要をお知らせします。

木造平屋建(準耐火構造) 3棟。

合計の延べ床面積: 848.43㎡

A棟: グループホームいろは(彩葉) 定員: 男性2名 女性8名

B棟: グループホームあおば(青葉) 定員: 男性10名

C棟: ショートステイえみのき(咲の樹) 定員: 男女10名、

相談支援事業所えみのき(咲の樹)

えみのき(咲の樹) グループホームでは、平成29年度末での申請の関係で「介護サービス包括型共同生活介護」としてスタートし、入居予定者の体験入居を経て、「日中サービス支援型グループホーム」への移行を目標に準備中です。

「日中サービス支援型グループホーム」とは、今年度から始まった総合支援法改正に伴う報酬改定において「重度の障害者等に対して、常時の支援体制を確保することにより、利用者が地域において、家庭的な環境及び地域住民との交流の下で自立した生活を営むことができるよう、利用者の身体及び精神の状況等に応じて、共同生活住居において相談、入浴、排せつ又は食事の介護等を行う」ことを基本方針として新しく認められた事業です。

現在も一部のGHでは、重度障害者の自立生活支援も行われていますが、近年では全国的に地域移行者数が滞っていることも報告されています。また、相談支援の現場では、保護者との居宅生活を続けてきたが、保

護者の高齢化に伴い生活の場を確保できない方たちからの相談件数が増加し、結果として既存の入所施設を頼らざるを得ない状況も目立っています。これらは、今回の事業計画の骨子となった「神戸市手をつなぐ育成会」による会員アンケート(住まいの場アンケート)の結果にも同様に表れています。

法人の中期計画にも記載していますが、施設利用者、GH利用者の重度化、高齢化、それに伴う保護者自身の高齢化などへの対応は、待ったなしの状況といえます。今般、平成28年度第二次補正予算による国庫補助の決定が後押しともなりました。なお、今回の定員20名のGHへの当初の応募者は84名でした。

開設場所は、日中活動の機会を多く保障するために、総合福祉ゾーンである「しあわせの村」内で、法人の2カ所の既設施設(ワークホーム緑友、グリーンホーム平成)に隣接する場所とし、神戸市当局の理解もあり、土地の貸与を受けることができました。両施設とも生活介護事業、就労継続支援 B型事業として、これまででも運営されており、新たな日中サービス支援型グループホームの利用者に対しても、個々に適したサービス内容を提供し、保障できることが要因でした。また、既存のグループホームに比べ、事業の目的でもある、個別支援による心身の安定を図るために経験豊富な開設担当者を中心支援者として、しっかり利用者寄り添えるように配置しました。さらに、入居者以外で様々な理由で居宅での生活が困難となった方に対する短期入所(ショートステイ)事業、相談支援事業による対応の充実を図っていきます。

新緑福祉会では、関係4団体との連携のもと、利用者を中心とする福祉活動の充実と発展により、真のノーマライゼーション社会を実現させたいと心から願っています。



## 「終の棲家」の課題

とこはの家 家族会 会長 石井 亨



今年は異常気象のためか桜の開花がことのほか早かったのですが、幸いにも花の見頃が雨も降らず例年

より長く楽しめたのは何よりでした。この後、神戸の街は諸処で白やピンクのツツジが彩りを添えますが、その中でも特に相楽園のツツジは見事です。続いて六甲山のアジサイ、これも森林植物園が素晴らしい。

このような神戸に生まれ毎年花の移ろいを愛でながら歳を重ねてきた娘 敦子が一昨年12月「とこはの家」にお世話になることになりました。それに伴い我が身も「とこはの家」家族会の一員になり、それにつれて新参者でありながら本年度の家族会会長を仰せつける羽目になりました。その矢先に本誌への寄稿を依頼され、今現在、四苦八苦しなながらキーボードを叩いているところです。

さて、敦子が「とこはの家」にお世話になり出した当初は、「終の棲家」が得られ一安心と家内共々大き

な安堵感につつまれたものです。しかしながら入所施設の現状に接するほどに、これが本当の「終の棲家」に成りうるのかどうか懸念するところが多々出て参りました。具体的には高齢化対策（設備面、支援体制両面とも）であり、看取りの問題であり、更には65才問題（福祉サービスから介護保険サービスへの移行問題）です。

これらへの対応は施設側がいくら頑張っても制度的、物理的に制約があるので、その対応に限界があることは明らかですが、やはり施設側がその限界を乗り越えるための主導的な動きをして貰いたいものです。家族側も施設側に全面的に依存出来ないとの認識に立ち「家族ネット」等を活用して全国的に施設の実態（工夫）を把握したり国への提言に繋げたりと施設側に側面から協力する姿勢が望まれます。

これまでは入所施設即ち「終の棲家」だと余りにも安易に考えていたようです。これからは名実ともに「終の棲家」と成りうる入所施設を目指して、施設側に依存するだけではなく家族も家族なりに尽力して行かなければならないと思う今日この頃です。

### 新緑福祉会後援会

### 平成29年度 第3回リサイクルバザー

西田 尚子

3月18日(日)しあわせの村において、平成29年度 第3回リサイクルバザーが開催され、新緑福祉会後援会も出店しました。10月29日(日)に行われる予定だった第2

回リサイクルバザーが雨で流れ、もし今回も雨で開催されない場合は、この大量のバザー品と古着をどうしようと心配でしたが、当日は穏やかな気候の中、絶好の好天にも恵まれ、客足が途絶えることなく、村の中はととてもにぎやかでした。並べきれないほどの品物を前に、最初は品出しだけでも大変でしたが、19名のお手伝いが懸命に売り子をして、閉める前にはずいぶん少なくなりました。古着と雑貨を併せて売り上げは89,105円ありました。経費を除いて純利益は79,055円でした。お手伝い下さった皆さま、物品を寄贈下さった皆さま、ありがとうございました。





## えみのき(咲の樹)・竣工式

～内覧会を開催しました～

えみのき(咲の樹) 施設長 廣岡 健太

平成 29 年度事業として進めてきました「えみのき(咲の樹)」の新築工事が平成30年3月20日に完工し、4月26日にしあわせの村研修館にて、竣工式を行いました。

竣工式ではまず初めに、一般社団法人神戸市手をつなぐ育成会会長、新緑福祉会理事である後藤久美子会長様より工事が予定通りに完了したお礼、これからは神戸市手をつなぐ育成会と社会福祉法人新緑福祉会が担うべき地域貢献に努力していくことを決意する旨のご挨拶がありました。

続いて、神戸市保健福祉局局長三木孝様と、公益財団法人こうべ市民福祉振興協会会長中村三郎様よりお祝いの言葉を頂きました。

竣工式終了後と 5/1、5/2、5/7、5/8 は、内覧会を行いました。5 日間で合計200人の方にお越しいただき、施設内をご覧いただきました。見学を終えた皆様からは、「私もここで暮らしてみたい。」「職員がみんな笑顔で案内してくれた。」とのお言葉を頂戴しました。

多くの方のご協力のもと、無事に竣工式・内覧会を迎えることが出来ました。今後はえみのき(咲の樹)に來られる利用者・家族、関係機関の方や職員みんなの笑顔が咲く場となるよう取り組んで参りますので、引き続きご指導ご鞭撻のほど、どうぞよろしくお願いいたします。





## 就労継続支援 B型事業の紹介

### ワークホーム緑友

主任支援員 木村 成明



緑友は室内外の作業に取り組んでいます。室内作業では、自主生産作業として巾着袋大・小、コースター、ティッシュケース、サシェ等々を作成し、また馬事公苑で頂いた馬蹄をピカピカに磨いて販売しています。その他、封筒への封入作業も行なっています。室外作業では、年間を通じて月曜日午前にはリハビリテーション病院周辺の除草作業、火曜日午前にはプール(サイド)清掃、

木曜日午前にはホテルのリネン作業、金曜日午前には保養センターひよどり周辺の除草作業を行っており、封入作業や室外作業などは、しあわせの村を運営管理する振興協会や事業所より頂いています。お仕事を下さいますしあわせの村内各事業所様ありがとうございます。今後も精一杯頑張ります!



### 神戸市立ワークセンターいわや

生活支援員 根岸 桃子

毎日午前2時間、午後2時間(水曜日は余暇活動の為午前のみ) 下請け作業を行っています。食品トレーのシール貼り(イオン系スーパーで販売中です)、宅配寿司付属品の梱包、ホテルや企業の資料を挟む紙ファイルの組立、百円ショップで販売する商品の組立を行っています。職員がその日に割り振った作業の予定表を利用者の方が各自で確認し、皆さん意欲的に作業に挑んでいます。在籍者は現在8名で、職員は2名



体制。施設創設時から在籍する方の他に、一般就労から移行し

た方や、環境の変化を求めて別の事業所から移行された方など様々です。月に1回の給料と年2回のボーナスを楽しみにされており、趣味の物や大好きなデザートを買うことを楽しみにしている方もおられ、活気に満ちた作業室となっています。今年度はフレッシュな新人が1名入所されました! これからも利用者の新たな可能性を模索しつつ、どんどんチャレンジしていきます!





## 送迎サービスについて



玉津むつみの家 施設長 福本 行太郎

玉津むつみの家の送迎サービスは、現在2つのルート（①西区長畑町及び玉津曙町経由明石駅方面、②玉津町今津経由西神中央駅から伊川谷方面）を実施しています。さらに今年度は、ご家族の高齢化と利用者ご自身の高齢化、体力低下に伴い、自立通所が困難となって来ている現状を踏まえ、①②を含めた多方面へのルートの拡大を検討しています。また、「緊急時送迎」として、「疾病や緊急入院、急用等ご家庭の事情により通常のご家族による送迎が困難で他に方法がない場合」に実施しています。

## 法人研修報告

虐待防止研修（平成29年11月16日・30年1月26日・2月16日） 神戸市立ワークセンターいわや 生活支援員 根岸 桃子

法人内の全職員を対象に、年に1回虐待防止研修を行っています。今年度は桃山学院大学の石田易司先生に講師を依頼しました。法律関係の説明や先生の携わる大学や障害者キャンプ等での実体験、全国の事故事例を基に分かりやすくお話ししてくださいました。利用者さんは勿論、施設に関わる全ての人々が信頼関係のもと、過ごしやすい空間を作って行けるよう、研修内容を活かしていこうと思っています。



5年目研修報告（平成30年2月9日） ちゅうおう障害者地域生活支援センター 相談員 森田 裕一

この研修は勤務5年を経過した職員を対象に、参加者が立案から見学先との交渉全てを行い、他の法人の事業体系や運営について学ぶことを目的としています。今回は、多岐にわたり事業を展開されている「社会福祉事業団 五色精光園」様に見学を依頼し、7名で行かせていただきました。運営の面では事業所間の連携状況や職員の研修制度を、支援の面では障がい特性や障がい状態に合わせた具体的な取り組みを教えていただきました。それら全てが参考になり、実りのある研修となりました。この研修で学んだことを参加者一人一人が各施設で活かしてくれるものと思います。

最後に「社会福祉事業団 五色精光園」の皆様、お忙しい中私共の見学を快くお引き受け下さり、またご丁寧な対応をして頂き感謝申し上げます。

法人5年経過者～9年経過者職員研修報告（平成30年2月27日・3月16日） ワークホーム緑友 施設長 堀江 善也

法人5年経過者～9年経過者職員を対象に「自閉症スペクトラム者への支援」というテーマで法人研修を行いました。今回は、「北摂杉の子」会臨床心理士の堀内桂氏に講師として来ていただきました。まず、脳科学的な視点より、自閉症スペクトラム者の脳の構造がどうなっており、記憶システムがどうなっているか、外界がどう見えているのかについて、専門的な話を伺いました。また、「構造化」という手法を使った支援について、実例をもとに、自閉症スペクトラム者にどのような環境を提供すればよいのかを具体的に学びました。環境を大きく変えなければならないものもありましたが、すぐに現場で実践できるものもあり、我々にとって大きな収穫でした。



この研修を受け、自閉症スペクトラム者の側から物事を考えることが大切であるという認識を持ちました。



## 新人職員の自己紹介

### ワークホーム緑友



たなか ゆき  
田中 佑季

最近、感動したこと

生活支援員

3月頃から上映しているディズニーの『リメンバー・ミー』という映画を観て、家族愛に感動して泣きそうになりました。映像もカラフルでとても綺麗で感動しました！



やまだ あつこ  
山田 厚子

これからの抱負

支援補助員

この仕事をはじめて3カ月余り、まだまだわからないことばかりです。利用者さんのいろいろな姿を毎日目にしながら仕事をしていますが、とても充実しています。今後は、利用者さんがひとつでも“できた！”と達成感をもてたり安心して毎日過ごしてもらえるよう頑張っていきたいと思っています。

### 新緑の家



とくがわ しんや  
徳川 真也

これからの抱負

生活支援員

この度、新緑の家で勤務させて頂くことになりました徳川真也です。毎日を心地よく安全に過ごせる環境を作っていくなかで、ご本人の、個性や強みを引き出し、伸ばせるように支援していきたいと思っています。皆様に信頼される、いつも笑顔の職員になれるように頑張ります。どうぞ宜しくお願いいたします。



おち ゆうな  
越智 優菜

趣味や特技はコレ！

生活支援員

特技はピアノを弾くことです。最近は全然弾いていませんが、利用者の方と歌を歌う機会があれば、一緒に歌えたら嬉しいです。これからよろしくお願いします。

### グリーンホーム平成



なかい さち  
中井 佐知

これからの抱負

看護師

入って数日経ちましたが、利用者の方の顔と名前が一致しません。徐々に皆さんの顔と名前を覚えていきますので、よろしくお願いいたします。健康についてわからないことがあれば、遠慮なく相談して下さい。



ひがしの かずみ  
東 栞 一美

これからの抱負

支援補助員

昨年の夏に実習させていただき、大学の授業では学べないことをたくさん学びました。そこから、より経験・知識を深めたいと思い、1月からアルバイトとしてごさせていただいています。大学もありますので短い時間になりますが、利用者の方々と良い関係を築けるよう関わっていきたくと思っています。よろしくお願いいたします。

### 玉津むつみの家



はしもと みずき  
橋本 岬

これからの抱負

生活支援員

4月より勤めさせて頂くこととなり、この機会にと、ひとり暮らしを始めました。仕事は右も左も上も下もわからないことだらけ。家に帰っても固いお米に焦げた夕食。公私共に中々思うようには行きませんが、一つずつでも実績を付けて、一日でも早く仕事と私生活を両立させたいと思っている毎日です。



やまぐち ほのか  
山口 穂乃花

最近、嬉しかったこと

生活支援員

4月より勤めさせて頂き、右も左もわからない状況でしたが、自分から利用者さんに進んでお声を掛けると利用者さんから「おはよう」や「先生あのね」と色々話をしてくれるようになった事や、ハイタッチをしてくれる事が、とても嬉しかったです。まだまだ分からないことが沢山ありますが、これからも利用者さんの笑顔のために頑張ります。

### とこはの家



やまもと ゆうき  
山本 祐紀

これからの抱負

生活支援員

今年度よりとこはの家で支援員として働いています。今まで野球を9年していました。体を動かすことが好きです。明るさと元気が取り柄です。皆様のお顔とお名前をたくさん覚えたいので気軽に話しかけてください。もちろん私からも話しかけに行きますので、よろしくお願い致します。これから多くの方とお会いできることを楽しみにしております。



おか みさき  
岡 美沙稀

ココで働きたいと思った理由

生活支援員

法人の見学会に参加したことがきっかけです。障がい者の法人で探していたところ新緑福祉会を知りました。施設の様子を見学させていただいた時、働いている職員の優しい人柄と、利用者の方の楽しく生き生きと活動している姿を見て、私もこの法人で働きたいと思い入社しました。今後ともがんばります。よろしくお願い致します。



むらい みゆき  
村井 美幸

趣味や特技はコレ!

## 生活支援員

私の趣味は2つあります。1つは雑貨屋さんに行くことです。気に入った物があれば購入もしますが、ただお店の中を回って見るだけで癒されています。気づいたら3時間、4時間と時間が経っていて慌てて帰るというパターンになっています。2つ目は趣味というより、私の癒しです。私の家にはもうすぐ12才になる柴犬がいます。12才といえば人間でいう73才ぐらいの老犬ですが大きな病気もせず元気です。私がどんなに遅く帰っても、しっぽをふりふりして出迎えてくれます。まだまだ長生きしてほしいので家族と共に楽しい毎日を過ごしていきたいと思っています。

おかた まさはる  
岡田 正治

最近、うれしかったこと

## 生活支援員

今は、利用者さんに顔を覚えてもらえるよう積極的な挨拶を心がけています。最近出勤すると、利用者さんから「おはようございます!」と挨拶してくださることがとても嬉しく、1日頑張ろうという気持ちが湧いてきます。まだまだ覚えることがたくさんありますが、早く一人前になれるよう頑張ろうと思います。

## 報告 法人内各事業所で実習等の受け入れを行いました(平成30年1月~4月)

- 神戸市立ワークセンターいわや 武庫川女子大学 □ワークホーム緑友 神戸親和女子大学

## 講師派遣(平成30年1月~4月)

## なだ障害者地域生活支援センター

- NPO法人みちしるべ神戸「セミナー」への講師派遣 2月3日

なだ障害者地域生活支援センター 山本主任相談員が「親亡き後の生活のポイント」について講師を務めました。

## 発達障害者東部相談窓口

- 東灘区ケアマネージャー研修会への講師派遣 3月8日

発達障害者東部相談窓口 小林相談員が、「発達障害」について講師を務めました。

## 法人本部事務局

- 神戸シルバー法律研究会・第三者後見ネットワーク連絡会シンポジウム 2月17日

「利用者からみた成年後見制度」 ~どう守る?「本人」の権利~

法人本部正心事務局長が、「障害者施設・障害者相談支援事業所からの立場」でシンポジストを務めました。

## 平成's kitchen

グリーンホーム平成 主任栄養士 齋藤 久三子

しあわせの村にある法人内施設の給食提供を一元化するため、グリーンホーム平成の厨房の改修工事を行いました。3月末から約3週間という長い期間の工事のため、作業室での食事となり、日中活動の上で大変不便なことがあったと思います。しかし、利用者・保護者の皆様のご理解、給食提供をしてくださっているイフスコ・ヘルスケアの調理師の方々、職員の協力により、給食をストップすることなく無事に提供できたことにほっとしています。これからも、利用者さんに喜ばれ、健康に良い食事を提供していきます。





## 支援者芳名録

【平成29年12月～平成30年3月】

〔後援会扱い〕

賛助会員名(敬称略)

浅川 文子

会費合計 3,000円

〔法人寄付扱い〕

寄付者名(敬称略)

関 英子、原田 兼嗣、小阪 敦子、片岡 喜信、有本 政一、坂口 民子、匿名1名

寄付金合計 103,000円

〔法人〕

### 新緑福祉会へのご寄付のお願い

社会福祉法人新緑福祉会へのご寄付受付を当法人事務局にておこなっています。

障がい(児)者の方が一人でも多く社会に参加し、生きることを心から楽しめるよう知的障がい(児)者の家族、職員一丸となって取り組んでおります。

当法人の考え方、事業に共感をしていただける皆様からのご厚情・ご支援をお待ち申し上げております。

皆様からのご寄付はこのように役立てています

- ・新規事業所の創設(グループホーム・相談支援事業所等)
- ・車両の購入(送迎用ワゴン車、作業用トラック等)

個人ご寄付 1口 3,000円、団体ご寄付 1口 10,000円

ご寄付の方法

《お振込》

郵便振込

口座番号: 00940-5-0236641

加入者名: 社会福祉法人 新緑福祉会(シャイワツホクガン シリョウワカライ)

※後日、領収書を郵送させていただきますのでご住所、お名前、電話番号は正確にご記入願います。

《現金でのご寄付》

法人本部事務局及び、法人内各事業所でも受け付けております。

(受付時間 平日9:00～17:00)

※窓口にて「払込取扱票」をご記入いただけます。

※後日、領収書を郵送させていただきますのでご住所、お名前、電話番号は正確にご記入願います。

当法人にご寄付いただくと、以下の所得税法及び法人税法による控除が受けられます。手続きは、寄付をされた年の確定申告時に、当法人が発行した寄付金領収書を添付して下さい。

＜個人の場合＞

以下の限度額で所得税法の寄付金控除が受けられます。

(「特定寄付金の支出額」と「総所得金額等の合計額の25%」のいずれか少ない方の金額) - 5,000円 = 寄付金控除額

＜法人の場合＞

次の限度額内で法人税法上の損金算入ができます。

《(期末資本金及び資本積立金 × 事業年度の月数 / 12 × 2.5 / 1,000) + (当該事業年度の所得金額 × 2.5 / 100)》

ご寄付に関するお問い合わせ

社会福祉法人 新緑福祉会

〒651-2121 神戸市西区玉津町水谷字セリ合400-7

TEL: (078) 913-1277 FAX: (078) 913-1137

メール: otoiwase@shinryoku.or.jp

〔後援会〕

### 後援会賛助会員勧誘のお願い

新緑福祉会後援会(以下、後援会)は、社会福祉法人 新緑福祉会(以下、法人)に対し、毎年、施設用地の取得に係る借入金の償還金相当額 540 万円の財政支援をしています。また、各施設の建物改修、設備の更新等の経費に対しても、毎年、支援をしています。さて、賛助会員の皆様のご協力により、念願の「えみのき(咲の樹)」が竣工しました。今後は、ショートステイ、相談支援の運営にも期待が高まっています。ただ、親なき後の住まいについては、まだまだ多くのニーズが解消されておりません。そのため、さらなる事業拡大に向けて更に多額の資金が必要となり、資金集めに取り組まねばなりません。そこで、後援会としては、厳しい社会情勢ではありますが、今後もさらに法人と連携し収入の拡大に努めます。後援会の設立の趣旨にご理解を賜り、一人でも多くの新しい賛助会員のご勧誘をさせていただきますよう、また、すでにご加入頂いております賛助会員の方々には、ご加入の継続をご推奨いただきますよう、お願い申し上げます。

● 年会費: (個人会員) 1口 3,000円、(団体会員) 1口 10,000円(1口以上のご寄付をお願いいたします)

● 振込先: 郵便振込 口座番号: 00960-2-145979

● 加入者名: 「新緑福祉会 後援会」

● 新緑福祉会のHP(<https://www.shinryoku.or.jp>)に、後援会を関連機関として紹介しています。賛助会員についても掲載していますので、是非ご覧ください。

### 編集後記

社会福祉法人新緑福祉会の機関紙の第6号をお届けします。ご多忙の中、原稿を寄せていただいた皆様に感謝申し上げます。併せて、スマートフォン対応にもなっていますホームページもご覧ください。ホームページは「https」となっており、通信には自動暗号化機能を加えた安心の設計になっています。

現在、えみのき(咲の樹)の進捗は、竣工式・見学会を終え、体験入居も終盤を迎えます。また、工事関係では、駐車場整備を行います。関係の皆様には、引き続きご不便をおかけしますが、何卒、ご協力をお願いいたします。

後援会の皆様には、「第28回しあわせの村まつり」への出店をありがとうございました。今後も、法人組織が一体となって協力いたしますので、よろしく願います。